

第6号

2011年9月

我孫子北近隣センターだより

発行：我孫子北まちづくり協議会

集うことから 始まるまちづくり！！ 秋を近隣センターで楽しもう！

我孫子北まちづくり協議会主催イベント

◆なつかしの名画鑑賞会 2本立て！！ 乞うご期待！

日時：10月30日(日) 13時30分～16時
場所：並木本館 多目的ホール
入場料：無料
定員：120名
問合せ：7157-4517



◆シュークリームを作りますか！！

ふっくらシュー皮が上手に作れます
日時：11月18日(金) 10時～12時 10名
14時～16時 10名
場所：並木本館 調理室
参加費：1,000円(おみやげ付き)
定員：20名
問合せ：7157-4517



◆我孫子市北部地域文化祭

日時：11月3日～5日(展示)
11月20日(芸能祭)
場所：つくし野コミュニティーホール
我孫子北近隣センターつくし野館
問合せ：小松弘道 7184-2385

◆子育てサロン「わ」

日にち：9月20日(火)・10月18日(火)・11月15日(火)
場所：並木本館 *費用無料
対象：幼児(1～3歳)とその保護者
内容：手遊び・おもちゃ遊びなど
主催：我孫子北地区社会福祉協議会子育てプロジェクト
問合せ：7165-3434(月・水・金)

我孫子北近隣センター 8月6日・7日 一周年記念フェスティバルの様子



われらが施設じまん

～ 個展や活動PRはいかがですか ～

1階エントランスロビーの壁面にはピクチャーレールを設置しました。

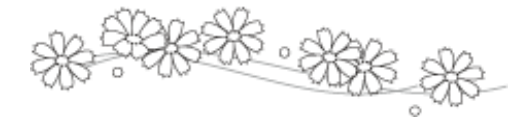
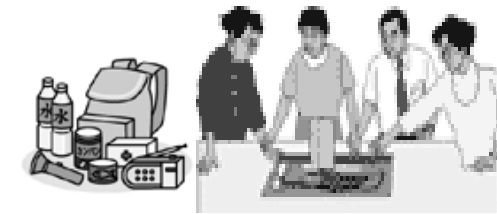
市民の写真や絵画作品、市民団体の様々なPRパネルなどの展示に使用して、交流を深めていただければ幸いです。オープン記念行事の時には、世界の子どもの笑顔の写真が、来館者を温かく迎えました。展示希望は随時受付しています。

展示物の設置期間は2週間となります。



白樺派のカレー誕生物語絵巻展示

災害に強いまちづくり！



前号に引き続き、防災とまちづくりについて、我孫子北地区の取り組みを紹介します。
我孫子北地区は1970年代から開発が進み、急激な人口増加と新しいまちづくりが始まりました。我孫子北地区は利根川に隣接し、低地に住む住民は何度も水害に見舞われました。その後、水害対策に関しては住民の組織的な活動が行政を動かし、治水対策を推進させました。

また、阪神大震災の後、行政主導のもと自主防災組織も自治会単位で数多く立ち上がり、我孫子北部（我孫子、台田、根戸、久寺家、並木、つくし野）でも54自治会中37の防災組織ができて、市民の知恵を活かした災害に対する組織作りが進行中です。先日の東日本大震災を経験し、新たな課題も出てきました。

災害時に大事なことは住民の安否確認と日ごろの近所付き合いということも確認されました。地域の高齢化が進み、一人暮らしのお年寄りや乳幼児のいる世帯をみんなの力でどのように守るのかを真剣に模索し始めている自治会もあります。我孫子市社会福祉協議会と民生児童委員協議会では、安心カードをいざという時に備えて一人暮らしの高齢者や希望者へ配る事業を開始します。我孫子市市民安全課では、災害時の自治会の動きを調査しました。これを機会に、地域の防災について考えてみませんか？



震災時の地域の動き その2

～並木地区自治会連合会の対応～

3月11日地震発生時より、参加自治会長の指揮のもとに、各家庭の被害状況を早速に調査して記録、写真を撮りました。そして即日、市役所へ通報し、市民安全課課長が来てくれました。被害が多かったのは道路の一部液状化や、屋根瓦の損傷と、塀の倒壊でした。

さらに3月13日（日）には、臨時の役員会を招集して、傘下の各自治会被災状況の詳細な文章による報告書を、副市長を通じて市役所に通報して、対策を求めました。市は迅速に対応してくれました。

（文：並木地区自治会連合会会長 神長さん）

＊＊お役立ち情報＊＊

- ◆避難訓練や防災研修会を盛り上げたいとき
市内で活躍しているNPOの力を借りよう！
災害救援ボランティア、我孫子市赤十字奉仕団など力を貸してくれるNPOがあります。我孫子市ボランティアコーディネーターに相談を！
- ◆自主防災組織を作りたいとき
我孫子市市民安全課に相談を！
- ◆防災について体験的に学びたいとき
千葉県西部防災センターに行ってみよう！
千葉県松戸市松戸558-3 TEL:047-331-5511
- ◆高齢者など要援護者の見守りについて
高齢者何でも相談室、民生児童委員に相談を！



◆天子山防災会

《世帯数160 高齢化率34% S52年自治会発足 H11年防災会発足》

- ・防災倉庫の器具は実際にはどう使うのか？
- ・避難所ってどこだっけ？
- ・いざという時、ご近所の状況が分からない。
- ・世帯簿はあるけど高齢者や要援護者が分からない。

昨年春の役員会でこんな疑問が出てきました。防災会の活動も、まずは自治会各世帯にアンケートを取るようになりました。

項目は「防災に対する備え」と「自治会が各家庭の情報を把握することの是非」を中心に設問し、秋にアンケート配布。

2月27日に市役所の「出前講座」を利用して「防災の集い」を開催。160世帯中43世帯、73名が参加。アンケートは、防災グッズのプレゼントと引き換えに、その時に回収しました。

アンケートの回答数は48世帯。「災害発生時に自治会が安全確認をすること」や「そのために自治会が各家庭の家族構成を把握しておく事」については8割以上が「はい」と回答しました。

その後3月11日の東日本大震災が発生しました。幸いにも天子山地区においては救助を伴う被害にはなりませんでしたが、今後お互いに助け合うための防災体制の整備を進めて行きたいと考えています。

（文：和田）



◆都自治会（つくし野7丁目）

《世帯数216 高齢化率26.4%（つくし野7丁目全体） S48年入居開始》

Q どんな地域？

S56年に水害にあい、安否確認や復興に苦勞。

東日本大震災被害は、家屋傾斜1件、屋根瓦崩落2件、ガス漏れ2件、道路液状化2件、道路陥没亀裂うねり6件、電柱元空洞化2件他

Q 水害の教訓を活かした対策は？

1. 緊急連絡体制の必要性を感じ、名簿や連絡網などを整備。

- ①「都自治会連絡網」：毎年更新
- ②「都自治会会員名簿」：隔年更新
- ③「会員家族数名簿&緊急連絡先名簿」：発足時は80%の提出（現在は50%）会長・防災担当預かりで封印して次年度会長へ申し送りをし、保管期限後廃棄。
今後は防災や孤独死防止のため精度を上げる予定。
- ④「緊急時駐車場利用名簿」：水害時等に近所のお寺の協力で高台の駐車場を使用させてもらう。約100%の申込率。

2. 日頃の住民同士の横のつながりが大切だということで、「ゴルフ会」「花の会」など、楽しみながら交流できる会を続け連絡と懇親を深めています。（自治会長 篠原さん談 文：大師堂）

◆つくし野西自治会自主防災会

《世帯数345 高齢化率32.7% H11年防災会発足》

つくし野西自治会自主防災会はH11年に発足して以来、その素晴らしい活動ぶりは市内各地で報告されています。

この会は発足時の自治会長と名乗り出た防災スタッフが中心になり、防災研修の実施、年5回の広報誌の発行、防災資器材の購入整備、自治会防災活動マニュアル作り等に取り組んできました。支援を必要とする会員の把握をし、災害時はご近所の複数の方がその方へ声を掛け、安否を班長が取りまとめ報告をする仕組みもつくりました。

3・11の時は、ご近所同士の安否確認はほぼ行うことができました。実際はマニュアル通りにいかなかったこともありますが、いざという時の声のかけ合う仕組みを作ったことは、多くの高齢者世帯の安心につながりました。また、震災発生後のアンケートで「近所への声かけや地域での助け合いが大切」と答えた方が多数だったことに今後の防災組織活動のヒントがあるようです。

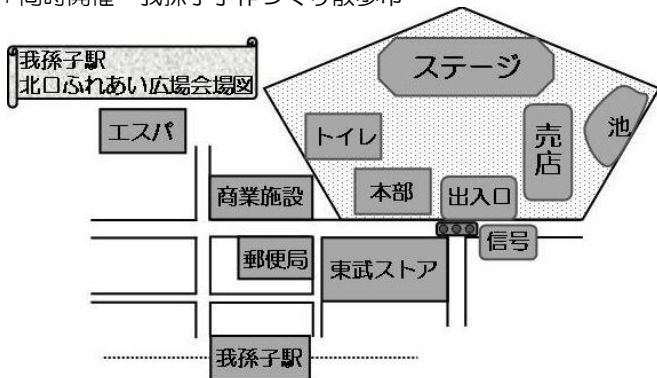
また、地域の防災ウォーキングマップを作り、避難場所、防災無線、給水拠点、備蓄倉庫、緊急路線、協力井戸、防火水槽、危険物施設、などを歩いて確認することを会員に奨励しているそうです。

（文：栗原）

＊ ＊ わがまち散策情報ひろば ＊ ＊

◆我孫子市民まつり ～ 負けるな日本! ～

日時 : 10月1日(土)9時～16時 *雨天時翌日
 場所 : 我孫子駅 北口ふれあい広場ほか *下記地図参照
 【北口ふれあい広場午前演目】
 津軽三味線・竜王太鼓・日本の踊りその他
 【北口ふれあい広場午後演目】
 二階堂高校吹奏楽部演奏・クラーク記念国際高校娘太鼓
 フラダンス・ジャンケンボン大会・大福引大会その他
 主催 : あびこ地区市民まつり実行委員会
 問合せ : 我孫子市商工会 7182-3131
 *同時開催 我孫子手作づくり散歩



◆国際交流スピーチ大会

日時 : 9月25日(日) 13時～
 場所 : あびこ市民プラザ多目的ホール
 参加資格 : 市内在住・在学・在勤
 テーマ : 自由 (持ち時間 5分)
 締切り : 応募[9月14日]・原稿[9月21日]
 主催 : 我孫子市国際交流協会・我孫子市
 問合せ : 7183-1231 E-mail : info@e-aira.jp

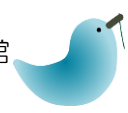


◆あびこ子どもまつり 2011

日時 : 10月16日(日) 9時30分～14時
 場所 : アピスタ・手賀沼公園
 参加費 : 200円
 主催 : あびこ子どもまつり実行委員会・我孫子市
 問合せ : 深津 090-5315-6580

◆ジャパンバードフェスティバル 2011

日時 : 10月22日(土) 9時30分～16時
 10月23日(日) 9時30分～15時
 場所 : 手賀沼親水広場・鳥の博物館他
 主催 : JBF 実行委員会事務局・鳥の博物館
 問合せ : 7185-2212 (鳥の博物館)



＊ ＊ まちづくりネットコーナー Vol. 4 ＊ ＊

中央学院大学が全国に発信する!

「我孫子市がキャンパス」プロジェクト

我孫子駅の北方、利根川河川敷を見下ろす高層ビルの学舎が中央学院大学です。8月6日に行われた講演会では、椎名学長が大学の地域貢献事業について、講演され、市内で様々なボランティアにかかわっている学生の活動報告も行われました。

中央学院大学の箱根駅伝での活躍は全国的によく知られており、アクティブセンターの市民カレッジでは多くの我孫子市民が学んできました。

新たに、平成21年度から「我孫子市がキャンパス」プロジェクトを立ち上げ、学生達が積極的に市内のイベントや地域活動に参画し、多くの市民と交流することで自らも成長しつつあります。具体的に地域のゴミクリーンキャンペーンの他、手賀沼学会、我孫子市の市民会議、あびこカップまつり、げんきフェスタや子どもまつり、市民活動フェアなどにも実行委員やボランティアとして参画し若い力を発揮しています。

*我孫子北地域の情報募集中! 情報はFAXで並木本館へ!

・氷 編集閑話 氷・

東日本大震災から、はや6ヶ月が経とうとしている。今回も災害を特集した。被災地の方々が、避難所から仮設住宅へ移られたが、新たに孤独死や、先の見えない生活苦の問題がおき、対応は後手に回っている。コミュニティーが破壊されてばらばらになった人々は本来持つ力を発揮することすら難しいという。さらに個人情報保護が共助の道を険しくしている今、我々の自治会は、いざという時に命を守る力となりうるのだろうか? ⇨ H. D



これからも、どんどん積極的に地域に出ることにより、地域と大学・学生が今後お互いにどのような連携ができるのかが具体的になっていくことでしょう。

10月のあびこ祭(大学祭)にも、地域の人々が足を運んでもらえる企画を考え中とのこと。今後がとても楽しみです!



我孫子北近隣センター1周年記念講演会

◆あびこ祭【中央学院大学文化祭：テーマ「WA」】

日時 : 10月29日(土)・30日(日) 10時～16時30分
 場所 : 中央学院大学
 *当日は一般の方々も入れます
 メインイベント : 「JAMOSA」野外コンサート(無料)
 主催 : 中央学院大学
 問合せ : 7183-6501

発行者 : 我孫子北まちづくり協議会 広報部会

*並木本館

〒270-1165 我孫子市並木5-4-6
 TEL : 7157-4517 FAX : 7157-4518

*つくし野館

〒270-1164 我孫子市つくし野3-22-1
 TEL : 7157-4085 FAX : 7157-4086

URL : <http://www.1a.biglobe.ne.jp/abikokita-kinrin/>